

# 平成30年度病害虫発生予察情報 注意報第1号

平成30年5月28日  
青森県病害虫防除所

津軽地域でリンゴ黒星病の発生が広く確認されています。  
～園地を見回り、発病葉・発病果の摘み取りを徹底しましょう～  
～「落花20日後頃」と「落花30日後頃」の薬剤散布を徹底しましょう～

- 1 病害虫名 リンゴ黒星病
- 2 作物名 りんご
- 3 対象地域 津軽地域
- 4 発生時期 やや早い
- 5 発生量 多い
- 6 注意報発表の根拠

- (1) 県予察ほ（りんご研：ふじ無防除樹）における初発は平年より4日早い5月10日であった。また、県予察ほの発病葉率は、平年と比較して、早く増加している（図1）。
- (2) 5月21～24日に行った巡回調査において、津軽地域37園地のうち、18園地で発生が確認された。5月中旬調査と比べて発病園地割合は増加し、津軽地域の広域で発生が確認された（図2）。
- (3) 花葉そう（花のまわりの葉）への発病程度は園地間差が大きく、一部では発病花葉そう率が50%を超えている園地もあった。

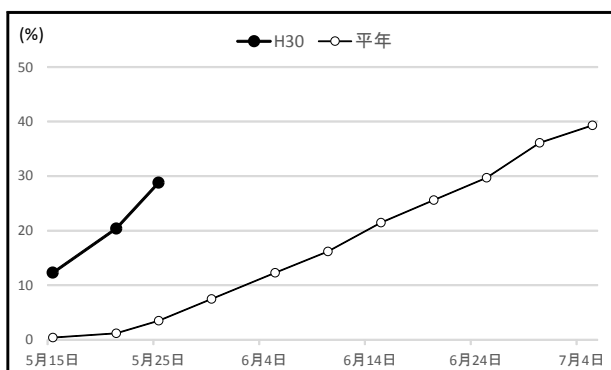


図1 県予察ほの発病葉率の推移  
(りんご研：ふじ無防除樹)

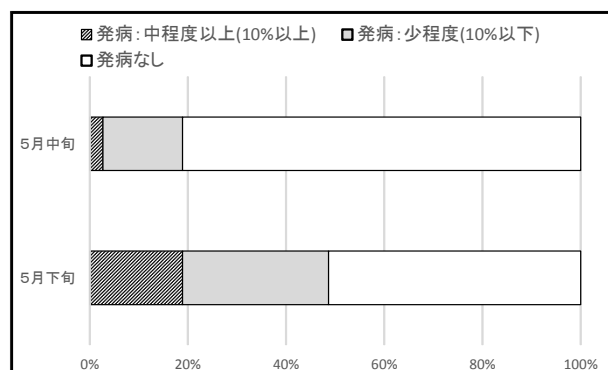


図2 津軽地域の発病園地率

- (4) 今後の発生予想  
今後、発病葉に形成される分生子が二次伝染源となる。今週の半ばには曇雨天の日が予想されること、また、梅雨入り（平年6月14日）が近いことから、発病葉がみられる園地では、今後の降雨の状況によっては新梢葉や幼果への急激な感染拡大が懸念される。

## 7 防除対策

園地の状況を確認し、発生がみられる園地では、耕種的防除を徹底する。

また、本年は生育が早く、落花20日後頃以降も感染するおそれがあることから、適正な散布間隔を維持するため、「ふじの落花30日後頃」の追加散布を行う。

### (1) 耕種的防除

葉裏にも発生がみられているので、園地の発生状況を丁寧に確認し、発病葉や発病果は見つけ次第摘み取り、土中に埋めるなど、適正に処分する。

### (2) 薬剤散布

#### ア『ふじの落花20日後頃』

散布間隔は前回散布から10日間を目安とし、チウラム剤（チオノックフロアブル、トレノックスフロアブル）500倍又はジマンダイセン水和剤600倍を散布する。

#### イ【追加散布】『ふじの落花30日後頃（6月10～11日頃）』

「落花20日後頃」と「6月中旬」との間に「落花30日後頃」の追加散布を設け、アントラコール顆粒水和剤500倍、チウラム剤500倍、パスポート顆粒水和剤1,000倍のいずれかを散布する。

ウ 散布むらを生じないように適切な量を丁寧に散布する。

エ 散布予定日に降雨が予想される場合は事前散布に徹する。また、曇雨天が続く場合には晴れ間を見計らって散布するなど、散布間隔は10日以上開かないように注意する。

オ 事前散布の徹底により、りんご防除暦又はりんご生産情報よりも散布回数が増えている場合は、各農薬の成分総使用回数以内で使用する。

カ 特にフルーツセイバー(SDHI剤)及びユニックス顆粒水和剤47(AP剤)は薬剤耐性菌が発生しやすいため、同一薬剤の連用はしない。また、フルーツセイバーは年2回以内の使用にとどめる。

表 リンゴ黒星病の主な農薬の使用回数等（平成30年度青森県農作物病害虫防除指針より抜粋）

薬 剤 名	希釈倍数	使用時期	有効成分総使用回数	有効成分名 (FRACコード)	系統名
ベフラン液剤25	1500倍	収穫前日まで	開花期以降3回以内	イミノクタジン酢酸塩 (M7)	グアニジン系剤
ダイパワー水和剤	1000倍	収穫14日前まで	開花期以降3回以内	イミノクタジナルベシル酸塩 (M7)	ホスホナート剤
				キャプタン (M4)	フタルイミド剤
フルーツセイバー	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ベンチオブラド (7)	ピラゾール系剤 (SDHI剤)
ユニックス顆粒水和剤47	2000倍	収穫14日前まで	4回以内	シプロジニル (9)	アニリノピリミジン系剤 (AP剤)
アントラコール顆粒水和剤	500倍	収穫45日前まで	4回以内	プロピネブ (M3)	ジチオカーバメート系剤
パスポート顆粒水和剤	1000倍	収穫45日前まで	3回以内	T P N (M5)	クロロニトリル剤
ジマンダイセン水和剤	600倍	収穫30日前まで	3回以内	マンゼブ (M3)	ジチオカーバメート系剤
チオノックフロアブル	500倍	収穫30日前まで	5回以内	チウラム (M3)	
トレノックスフロアブル	500倍	収穫30日前まで	5回以内	チウラム (M3)	
アリエッティC水和剤	800倍	収穫14日前まで	3回以内	ホセチル (33)	ホスホナート剤
				キャプタン (M4)	フタルイミド剤
オキシラン水和剤	500倍	収穫14日前まで	4回以内	キャプタン (M4)	有機銅剤
				オキシ銅 (M1)	
キノンドー水和剤80	1200倍	収穫14日前まで	4回以内	有機銅 (M1)	有機銅剤
オキシンドー水和剤80	1200倍	収穫14日前まで	4回以内	有機銅 (M1)	

※この表は、7の(2)のオに関連し、主な農薬の使用回数を示しているものです。各時期に使用する農薬については、りんご防除暦又は直近のりんご生産情報を参照してください。

★農薬を使用する際には必ず最新の農薬登録情報を確認してください★

### 《問い合わせ先》

青森県病害虫防除所  
担当：柳野主幹

TEL:017-729-1717  
FAX:017-729-1900